

# 委員会レポート

## 予算決算委員会

予算決算委員会に付託された議案は12件。

9月13日に開催し、審査を行いました。

### 議案

#### ◆議案第58号

「令和4年度弥富市一般会計補正予算(第7号)」

電気料の補正率は。

当初予算の約1.4倍。

自治会支援金の対象は。

本市の住民基本台帳上の世帯数を基準とする予定。

(10月1日現在)

自治会ごとの金額内訳は。

基準日の住民基本台帳上の世帯数に6千円の単価を乗じて、自治会の口座に振り込む。

一戸に2世帯ある場合はどのようにカウントするのか。

1つ屋根の下で世帯分離等を行い2世帯住んでいる場合、2世帯とカウントする。

自治会を支援した理由は。

自治会活動を再開する際、今まで発生しなかった経費や物価高騰の影響を受けた経費もあるため、財政的な援助をする。

支給される時期は。

各自治会へ申請書を発送し、11月から12月にかけて振り込む予定。

自治会はいつまでに事業を終了し、事業報告を提出するのか。

事業年度は令和4年度。自治会で作成する会計報告等の提出を依頼する予定。

会員への周知は。

総会や地区内の回覧等を考えている。

自治会に加入していない世帯への対応は。

自治会活動から派生する効果を享受する支援。

プレミアム商品券事業と比較検討したのか。

商品券事業を全面委託した場合、予算ベースで3割程度経費がかかり、対象者も限定される。今回は市民に少しでも多く還元できるように検討した。



▲屋外用ダストボックスイメージ写真

使用済紙おむつ回収処分業務において、どのように回収、補充するのか。

保育室の専用ダストボックス内にビニール袋を用意して捨て、まとめたものを屋外に設置した保管用ダストボックス内の大きなビニール袋にまとめ、週3回委託業者が回収する。在庫の枚数を確認し、必要枚数を保護者が補充する。

### 総務部 決算審査



3か年平均の財政力指数が0.02ポイント減の0.96となった要因は。

基準財政収入額が前年度より約2億円の減となったことが要因。

令和3年度の単年度財政力指数は0.93。

令和3年度、実質単年度収支の黒字額が約4億5千万円を示したがこの要因は。

市税の増額補正、普通交付税の再算定による交付税の増による。

行政財産が941.75m減、普通財産が934.00m増加した要因は。

行政財産は、十四山ゲートボール場の用途廃止で934m減、防火水槽の払い下げで31m減、ゴミ集積場の寄付等で23.25m増。普通財産は、十四山ゲートボール場の用途廃止で934m増。

十四山支所の賃借料の詳細は。

海部地方消防司令センターは約345万2千円、海部南部広域事務組合は約56万6千円、海部南部権利擁護センターは約53万2千円。

なぜ土地改良区から賃借料を徴収していないのか。

広域団体のみ賃借料を徴収しているため。



▲海部地方消防司令センター

適正な財政調整基金の残高に対する見解は。

令和5年度末までに20億円。

減債基金と公共施設整備基金の合算した基金残高25億円を目標とする。

令和4年度、5年度に向けて固定資産税収入の見通しは。

令和4年度は、7月末現在の収入状況が前年度対比101.58%。

令和5年度は、市南部地区への物流施設建設による増収が見込まれる予定。

滞納処分の停止が適正に行われているか。

国税徴収法第153条、地方税法第15条の7及び、弥富市滞納処分停止事務取扱要綱等に基づき適正に実施。

### 建設部 決算審査



危険なブロック塀はどれだけ解消されたのか。

平成30年度から令和4年8月末現在、合計39件、約580mを撤去。

### 市民生活部 決算審査



第2期の南部地域通学通勤バス社会実験運行の検証、および分析結果は。

南部ルートは、通勤・通学需要に対応した市中心部への急行便運行を計画し社会実験を行い、コミュニティバスに替わる新たな運行手段としてデマンド型乗合サービスの導入を検討している。東部・北部ルートについても、南部ルート同様にデマンド型乗合サービスの導入を順次検討していく予定。